



千鳥の丘に



“新”五位小学校 「安全な登下校のために」

校長 横山 美智子

学校だよりも今回を含め残り2回となりました。児童玄関には、千鳥丘小学校閉校式までの子供たちの登校日数を示すカウントダウン日めくりカレンダーが掲示されています。子供たちは年間、約200回登校します。週休二日制が始まるまでは、年間約240回登校していました。59年間で約13,000回登校していた計算となります。このお便りが皆様のお手元に届く頃には、子供たちが閉校式までに千鳥丘小学校に登校する回数も残り20回ほどとなります。今年はどういう年で一日多いことがとてもうれしく感じられます。閉校の準備とともに、新校舎の準備も進んでいます。2月中に、一回目の引越しをします。今年度の授業ではもう使わないものを中心に新校舎へ運びます。通常でも慌ただしい年度末、今年度の授業や学年のまとめに加え、新校舎や次年度の準備と教職員一同、日々奮闘しています。

さて、新年度からの学校生活に欠かせないことの一つに「集団登下校」が挙げられます。「集団登下校」は、「児童一人一人が交通ルールやきまりを守り、協力して安全に登下校すること」を目的としています。みなさんご承知の通り、新年度からの通学路は大きく変わります。新たにバス通学も加わります。多くの児童は新しい通学路を通るため、安全に留意する所も違ってきます。学校では、PTAの方や地域の方、そして関係機関とも相談しながら、子供の安全を第一に通学路について考えてまいりました。大切なことは毎日の集団登下校を通して、児童が自ら交通ルールを守り、安全を意識して行動すること。「速く渡って!」「車が来たよ!」と周囲の声で動くのではなく、学年とともに「信号が点滅したから、急ごう」「歩道がないから、端を歩こう」など、自分で判断して、また下級生に声をかけて行動する力を培うことと考えます。これは学校だけで指導できることではありません。何よりも、学校、家庭、地域による連携、協力が不可欠です。これまでも児童の登下校について、保護者の皆様や地域の皆様には多大なるご支援とご協力賜りましたこと心より感謝申し上げます。次年度の新しい通学路でも引き続きご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。

3月7日(木)に自宅から新五位小学校まで、新しい登校班での集団登校とバス通学の練習を予定しています。保護者の皆様、地域の皆様には、お時間が許される範囲で登校の様子を見守っていただければ幸いです。また、各ご家庭でも予めお子さんと一緒に通学ルートの確認や登下校練習を行っていただきますよう、ご協力をお願いいたします。



